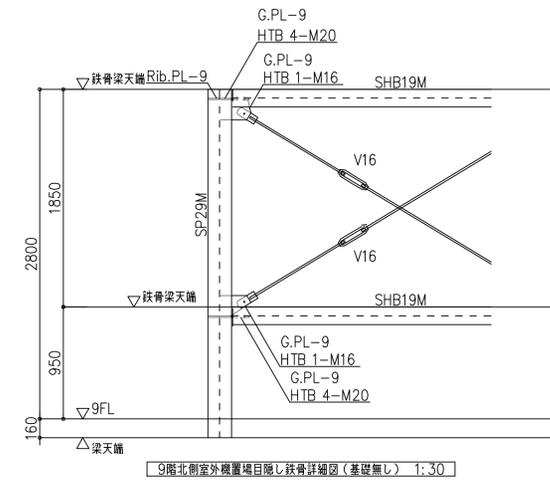
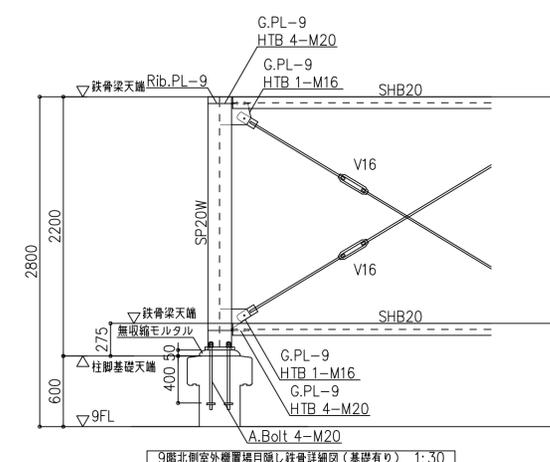
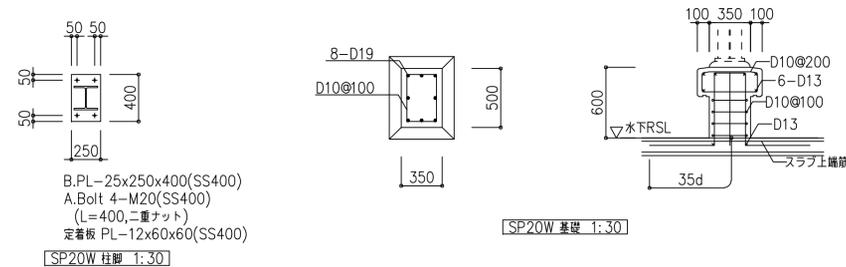
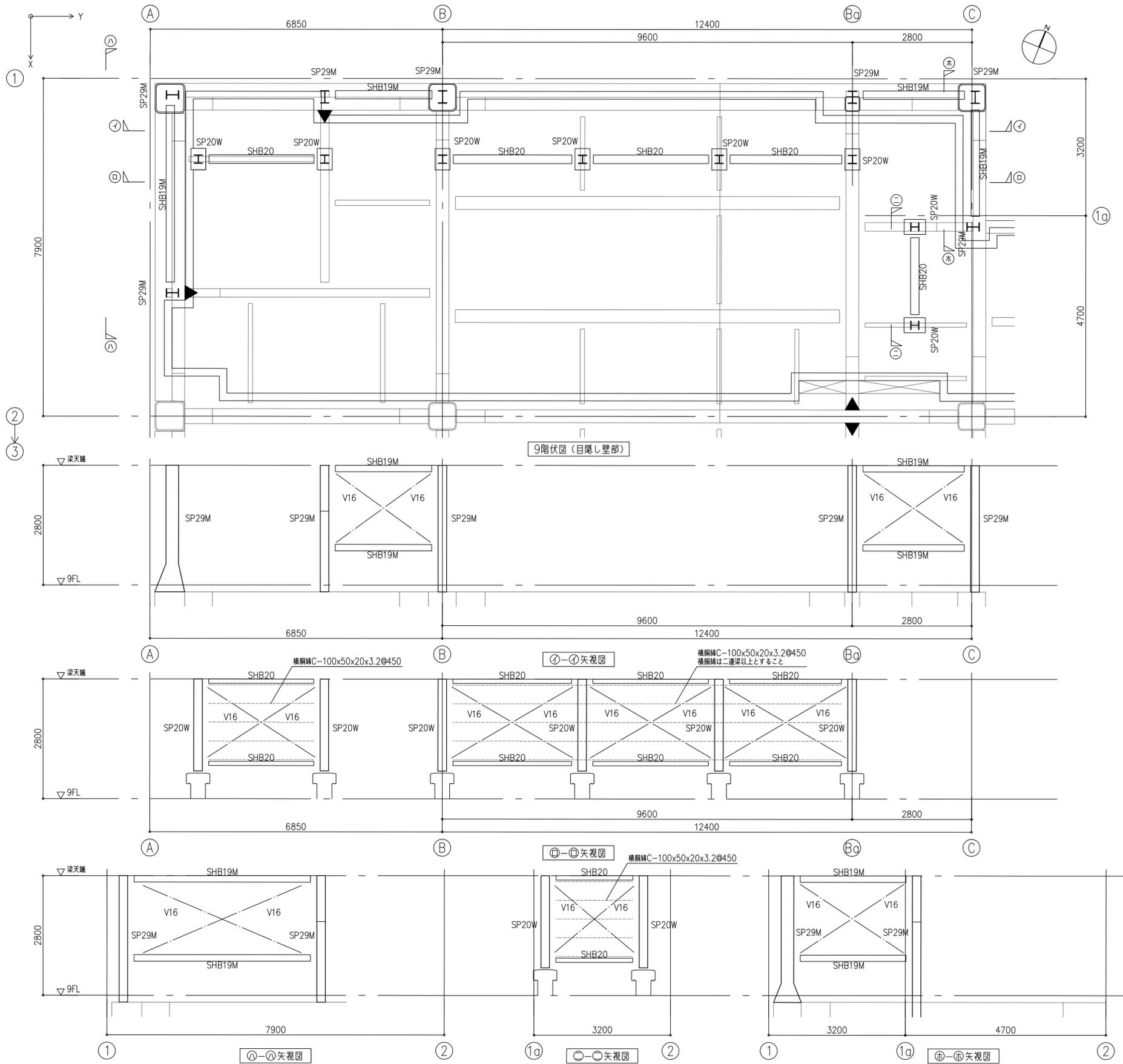


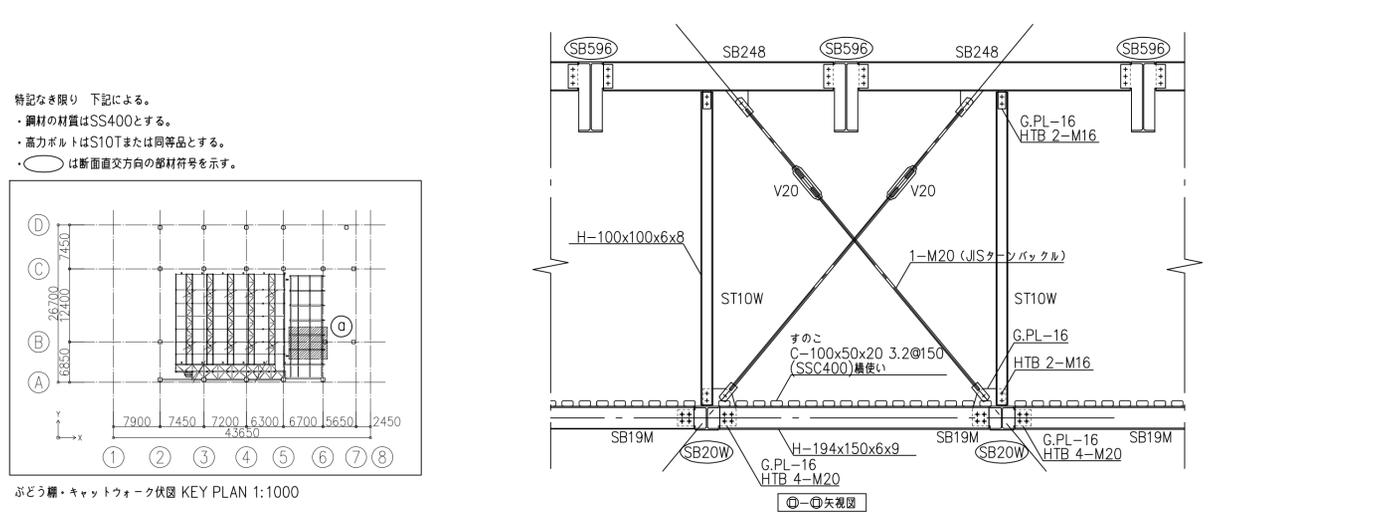
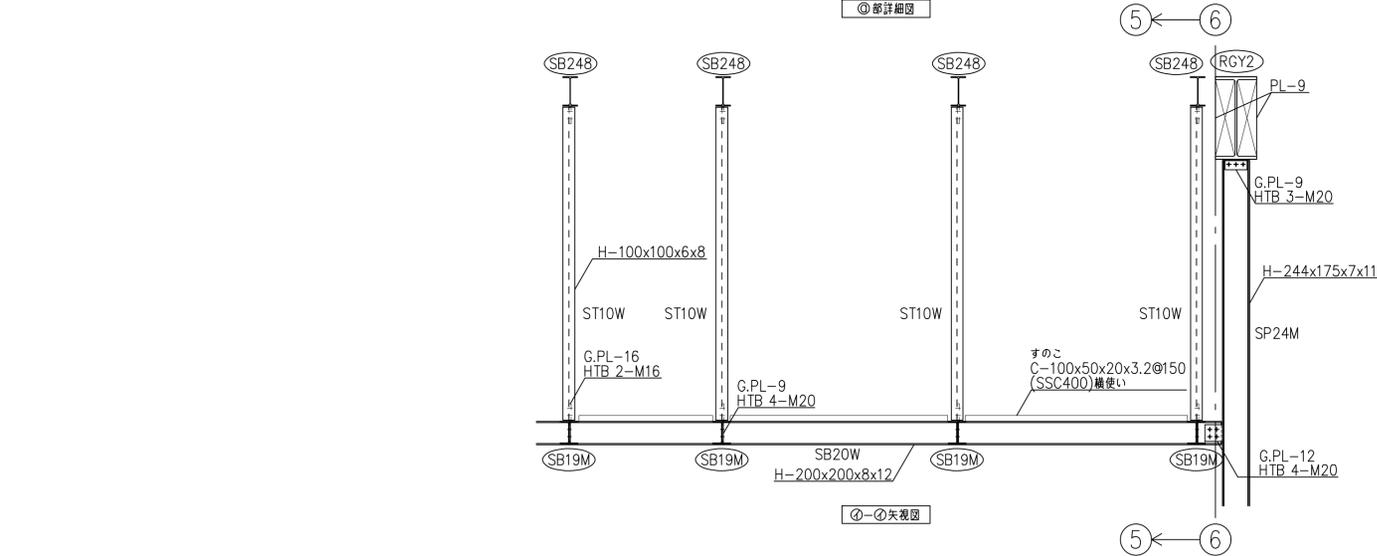
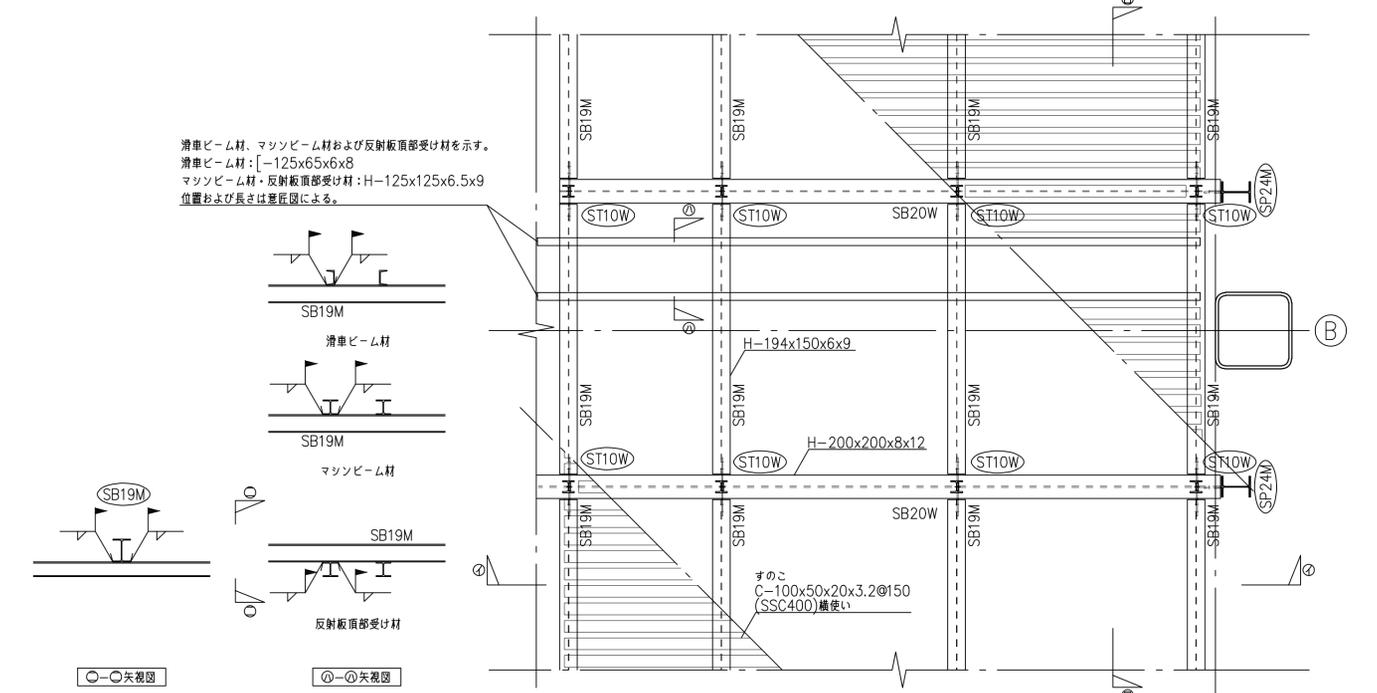
特記なき限り 下記による
 ・ 鋼種は、柱部材 BCP325
 梁部材 SN490B
 通しタイアフラム SN490C
 内 タイアフラム SN490B
 但し、板厚40mm超の場合はTMCP鋼490級とする。
 ・ 通しタイアフラムの板厚は、取り付く部材の2サイズアップとする。
 ・ パネルゾーンの間形鋼管の板厚は、上下階の板厚以上とする。
 ・ ◀印は、梁継手位置を示す。
 ・ ▶印は、柱位置を示す。
 ・ ▽印は、梁位置を示す。

縮尺	1:50
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事
図面名称	鉄骨梁構詳細図
通し番号	212
図面番号	550
大阪府都市整備局 企画部	株式会社 大建設計
公共建築課(企画設計グループ)	212 229



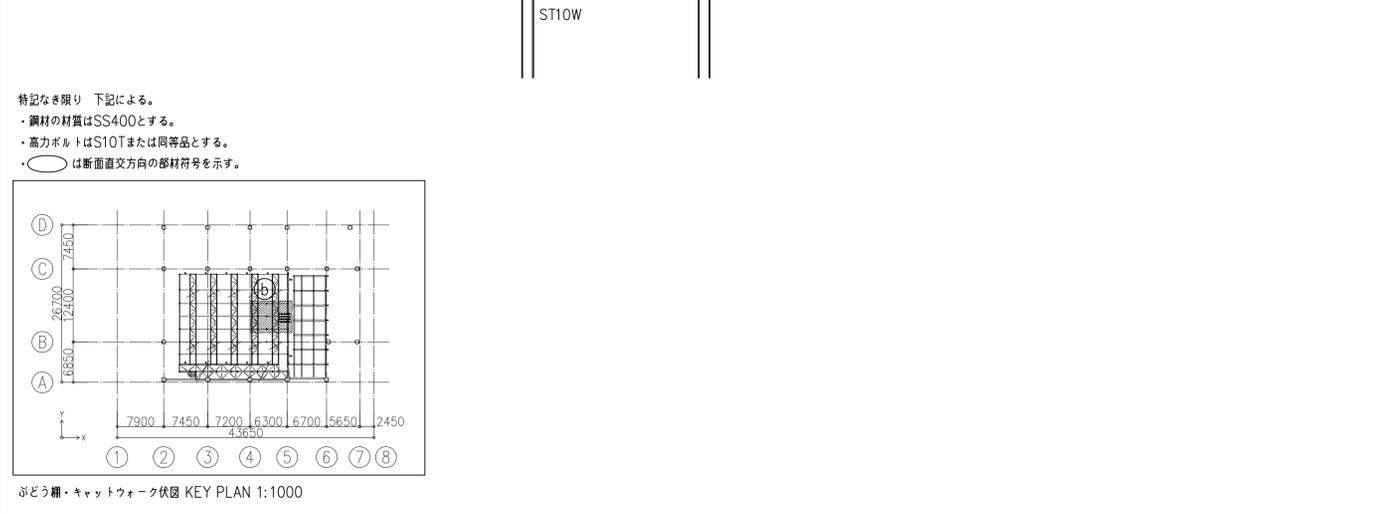
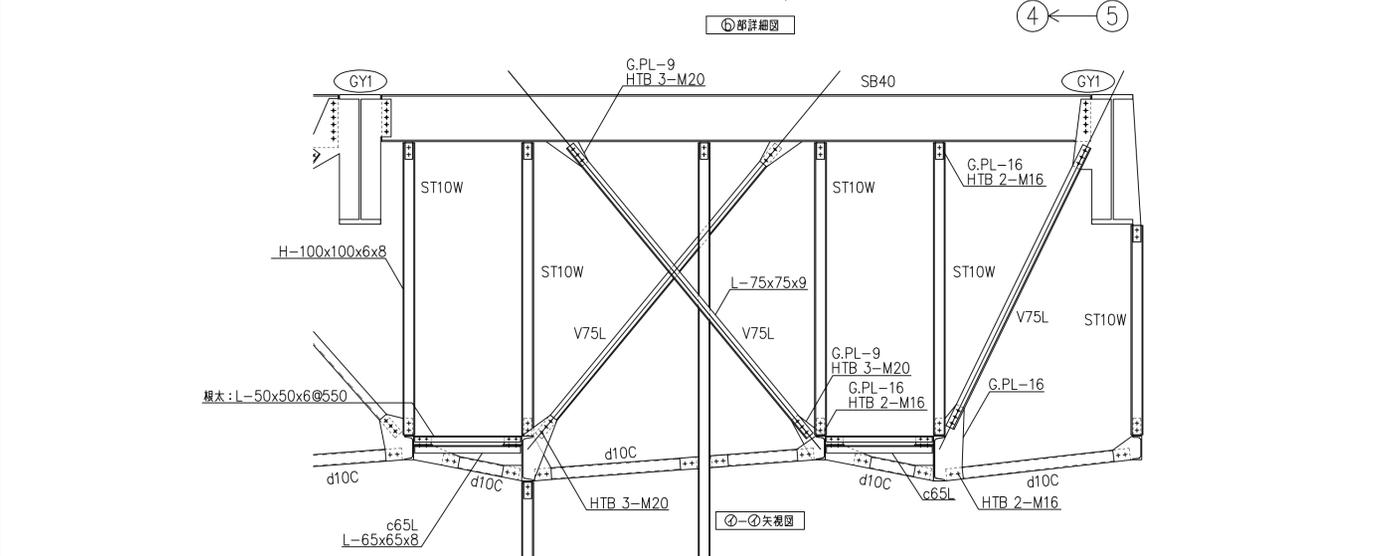
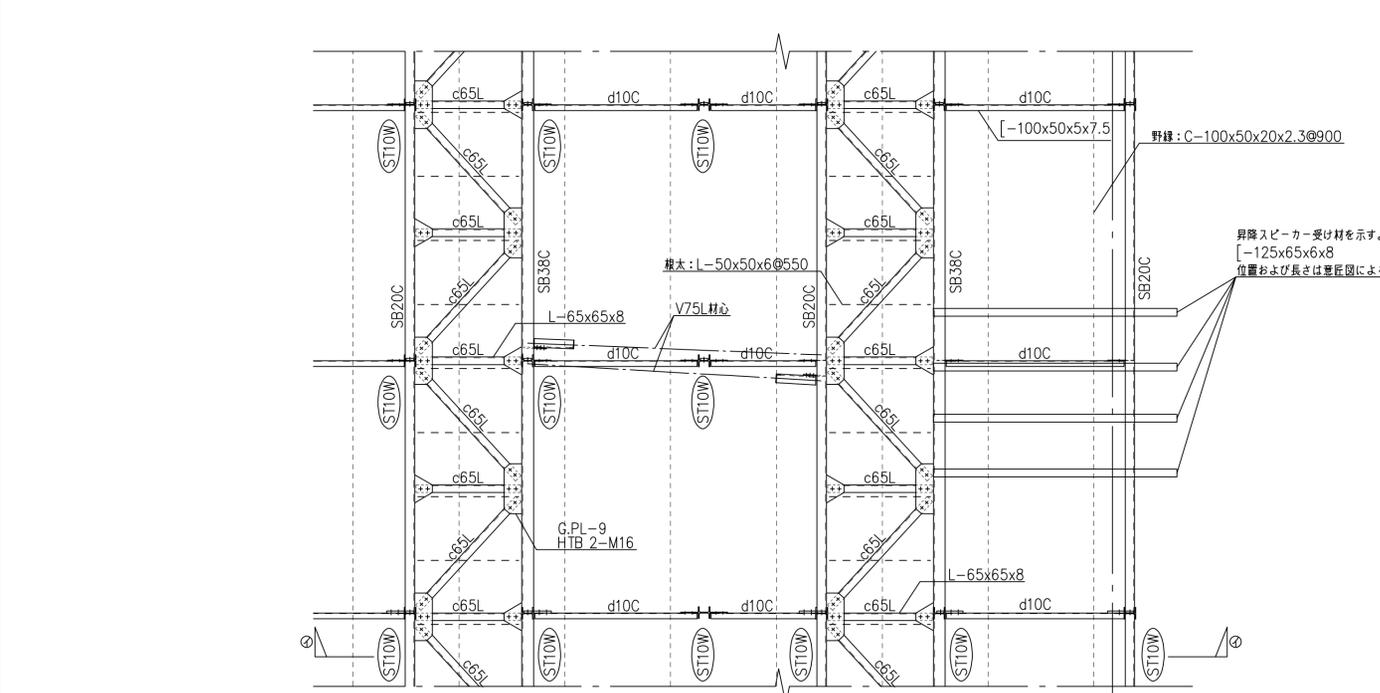
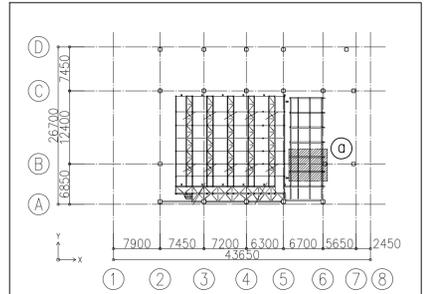
・外部に接するルーバー受け材は溶融亜鉛めっき処理とし、高力ボルトは溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T)相当とする。

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	令和元年度
図面名称	鉄骨雑詳細図(1)	図面番号: 551
大田市都市整備局 企画部	株式会社 大建設計	図面番: 213
公共建築課(企画設計グループ)		229



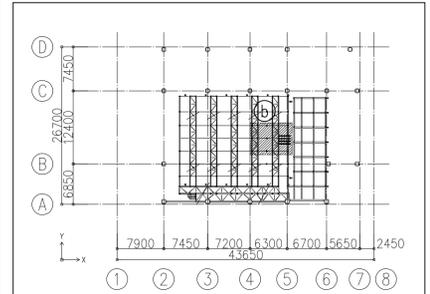
ぶどう棚・キャットウォーク伏図 KEY PLAN 1:1000

特記なき限り 下記による。
 ・鋼材の材質はSS400とする。
 ・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。
 ・○は断面直交方向の部材符号を示す。



ぶどう棚・キャットウォーク伏図 KEY PLAN 1:1000

特記なき限り 下記による。
 ・鋼材の材質はSS400とする。
 ・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。
 ・○は断面直交方向の部材符号を示す。



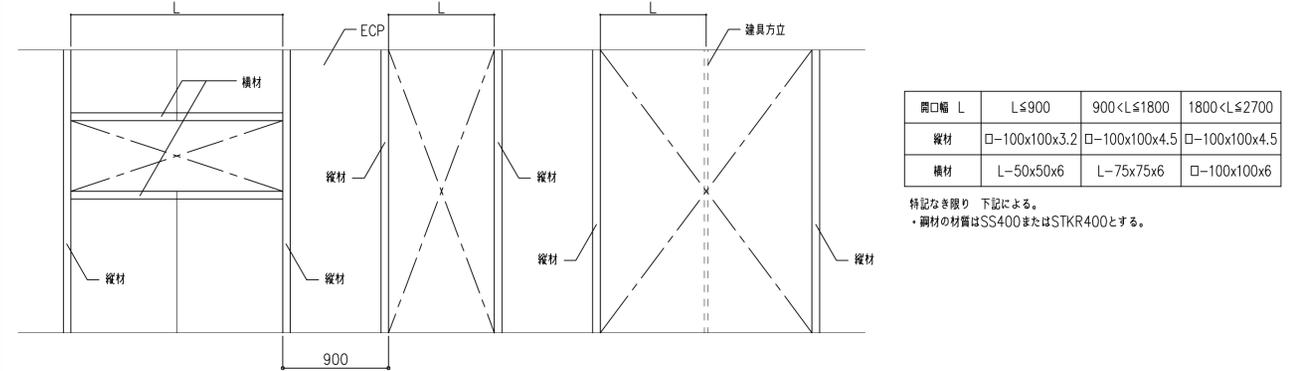
令和元年度	図面番号	552
図面名称	鉄骨雑詳細図(2)	214
図面番号	214	229
大阪府都市整備局 企画部	株式会社	大建設計
公共建築課(企画設計グループ)		

梁上スタッドコネクタ配列

梁上にスラブが取り付け箇所にはスタッドコネクタを設ける。配置要領は下記による。

梁種別	大梁				小梁・片持ち梁		
	300 ≦ B < 350		350 ≦ B		B < 200	200 ≦ B < 300	300 ≦ B
フランジ幅 B	300 ≦ B < 350		350 ≦ B		B < 200	200 ≦ B < 300	300 ≦ B
材種	490N級		490N級		-	-	-
断面	45 45	45 45	60 60	60 60	-	-	75 75
スタッド要領	19φ h=80 p=250	19φ h=80 p=170	19φ h=80 p=200	19φ h=80 p=150	16φ h=80 p=300	16φ h=80 p=200	16φ h=80 p=300
備考	スラブ厚200のスラブと接合する箇所については(h=80)を(h=130)と読み替える。				スラブ厚200のスラブと接合する箇所については(h=80)を(h=120)と読み替える。		

ECP開口補強要領

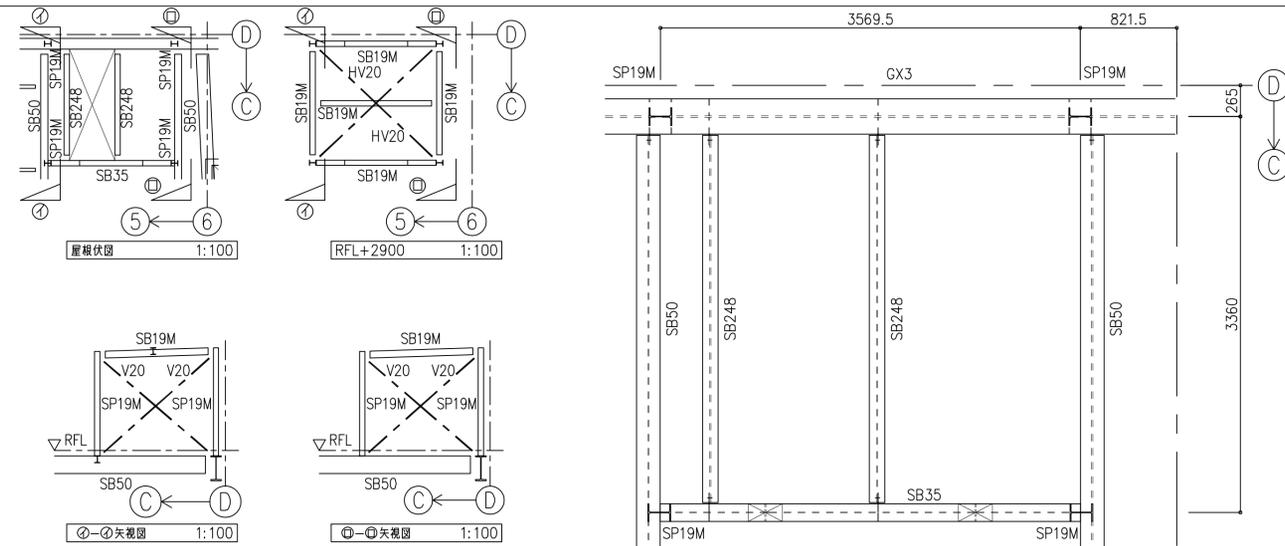


ハト小屋D10鉄骨架構詳細図

1:30

ホール舞台・裏舞台間 内壁支持鉄骨接合部詳細図

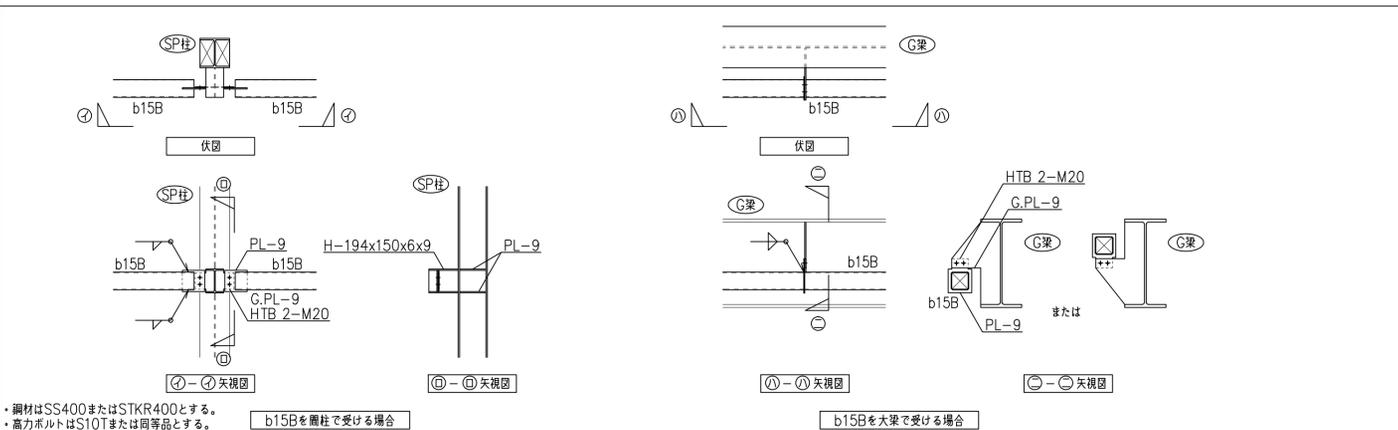
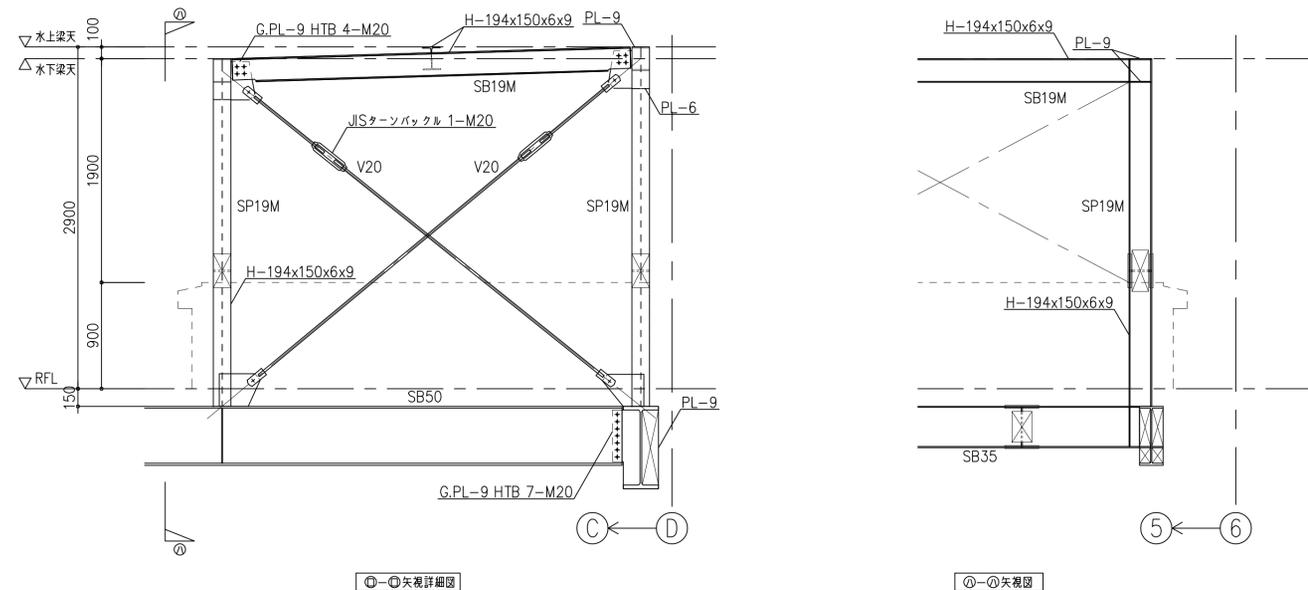
1:30



鉄骨部材リスト

符号	部材	鋼種	備考
SB19M	H-194x150x6x9		接合部は、H/GCによる。
SP19M	H-194x150x6x9		

・鋼材はSS400とする。
・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。

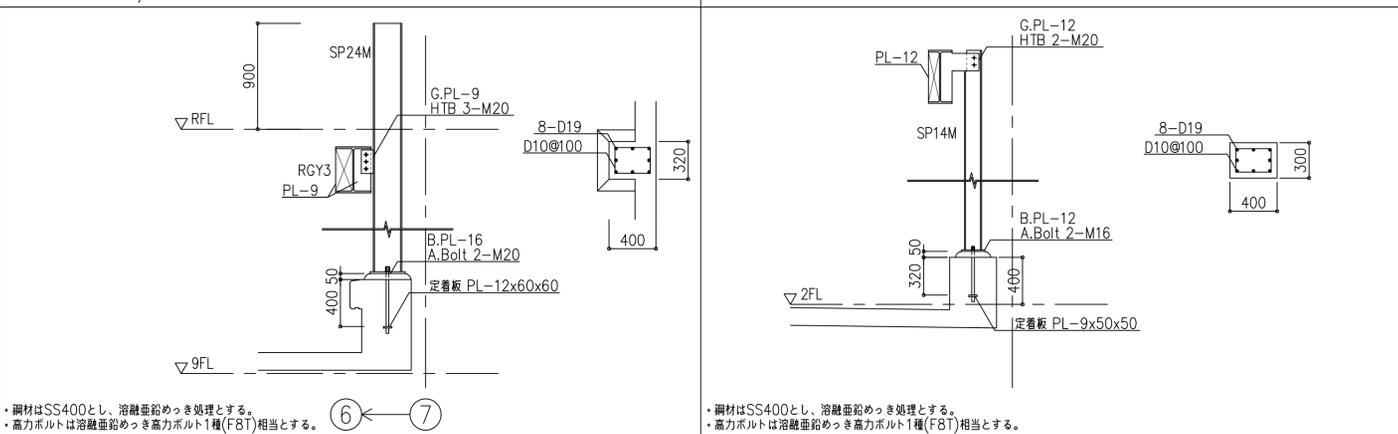


7通り RGY3梁/SP24M柱接合部詳細図

1:30

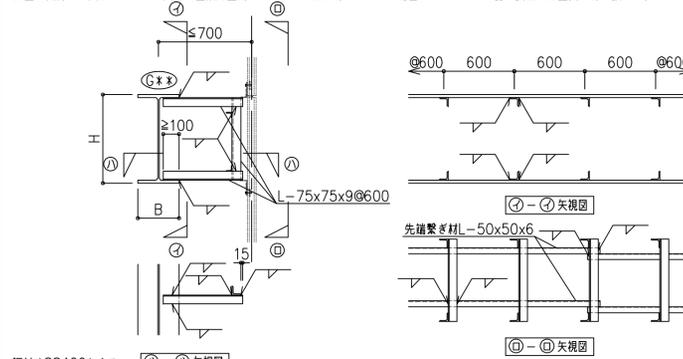
2階8通り SP14M接合部詳細図

1:30

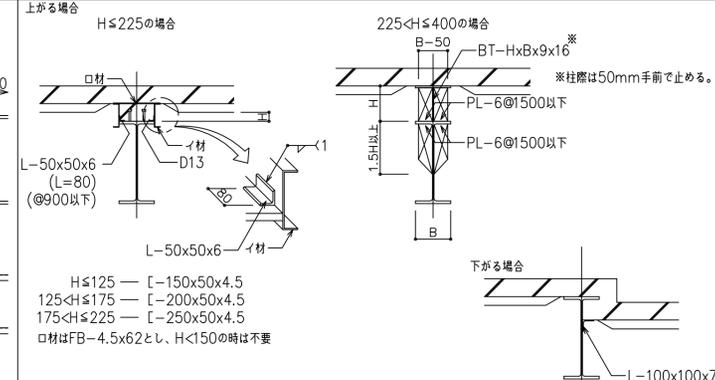


外壁受け材配置要領図

外壁を支持する大梁において、大梁に直接外壁用ブラケットが取り付けられない範囲については、下記の要領で外壁受け材を設ける。



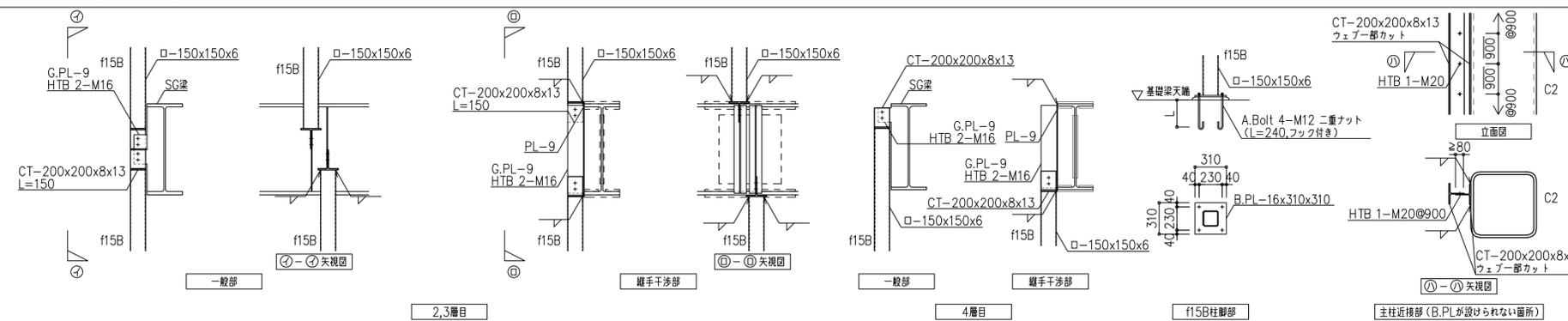
スラブと大梁にレベル差がある場合の補強要領



・鋼材はSS400とする。

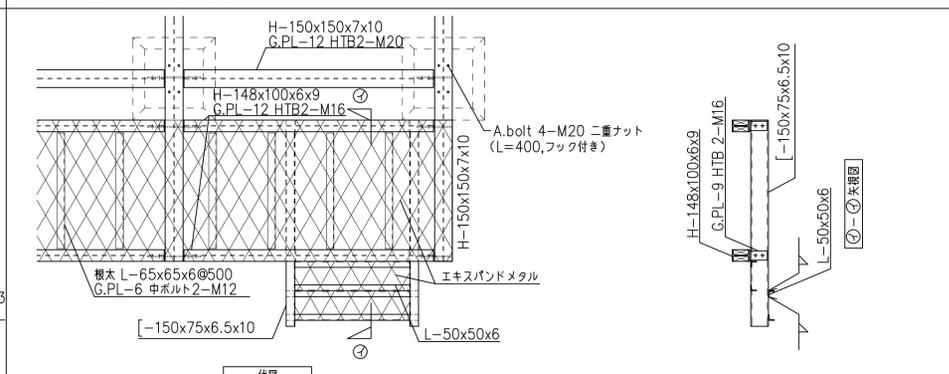
工務名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	令和元年度
図面名称	鉄骨柱詳細図 (3)	図面番号: 553
大阪都市整備局 企画部	大設計	図面番号: 215
公共建築課(企画設計グループ)		229

1~3階-1通り壁面緑化受け材詳細図



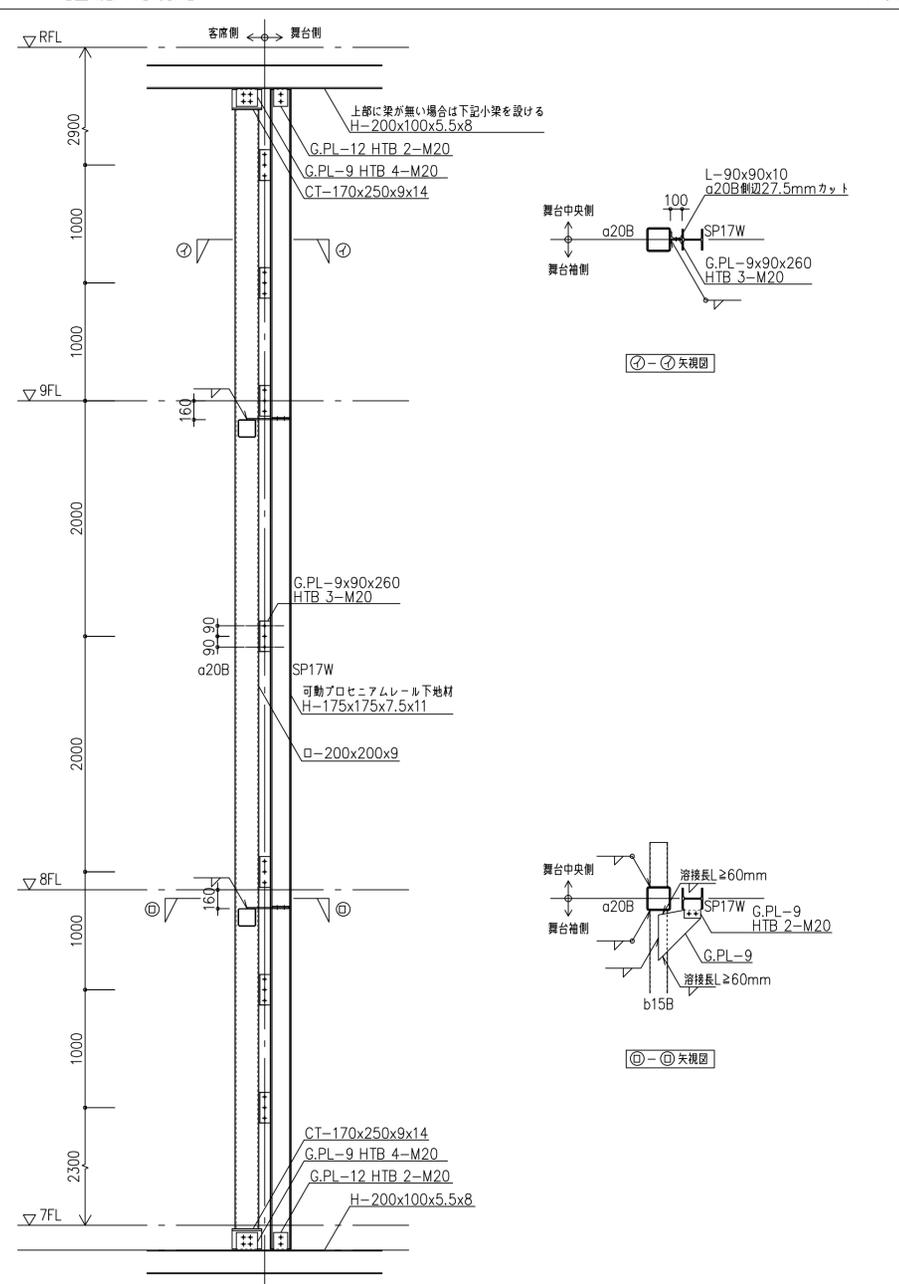
・鋼材はSS400またはSTKR400とする。
 ・鋼材は溶融亜鉛めっき処理とする。
 ・高力ボルトは溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T)相当とする。

キュービクル横メンテナンス歩廊



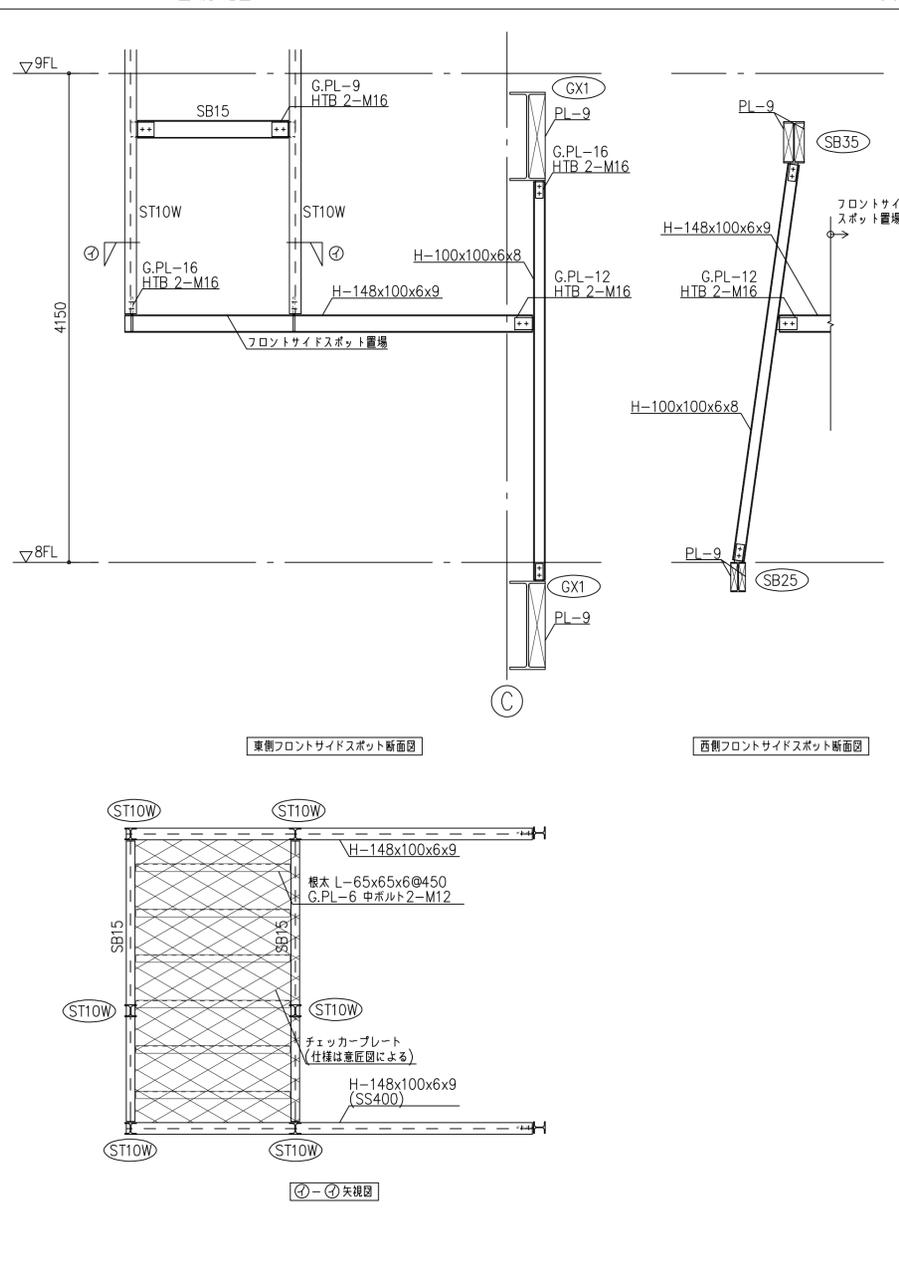
・鋼材はSS400とする。
 ・鋼材は溶融亜鉛めっき処理とする。
 ・高力ボルトは溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T)相当とする。

ホール袖壁端部下地材詳細



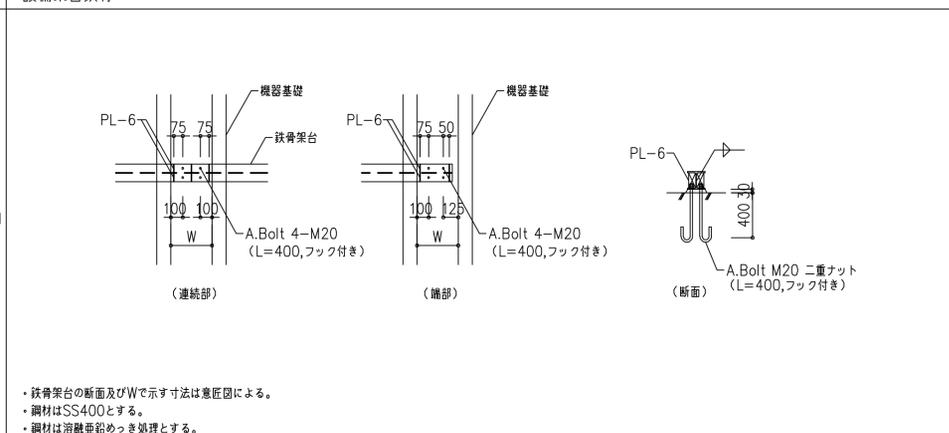
・鋼材はSS400またはSTKR400とする。
 ・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。

フロントサイドスポット置場詳細図



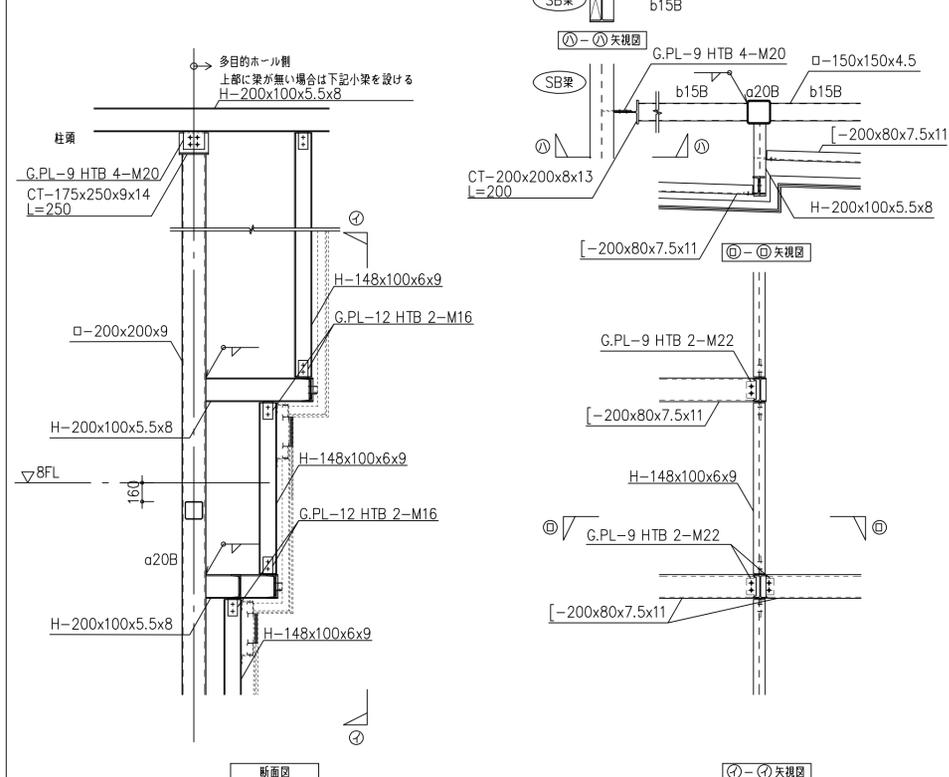
・鋼材はSS400とする。
 ・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。

設備架台鉄骨



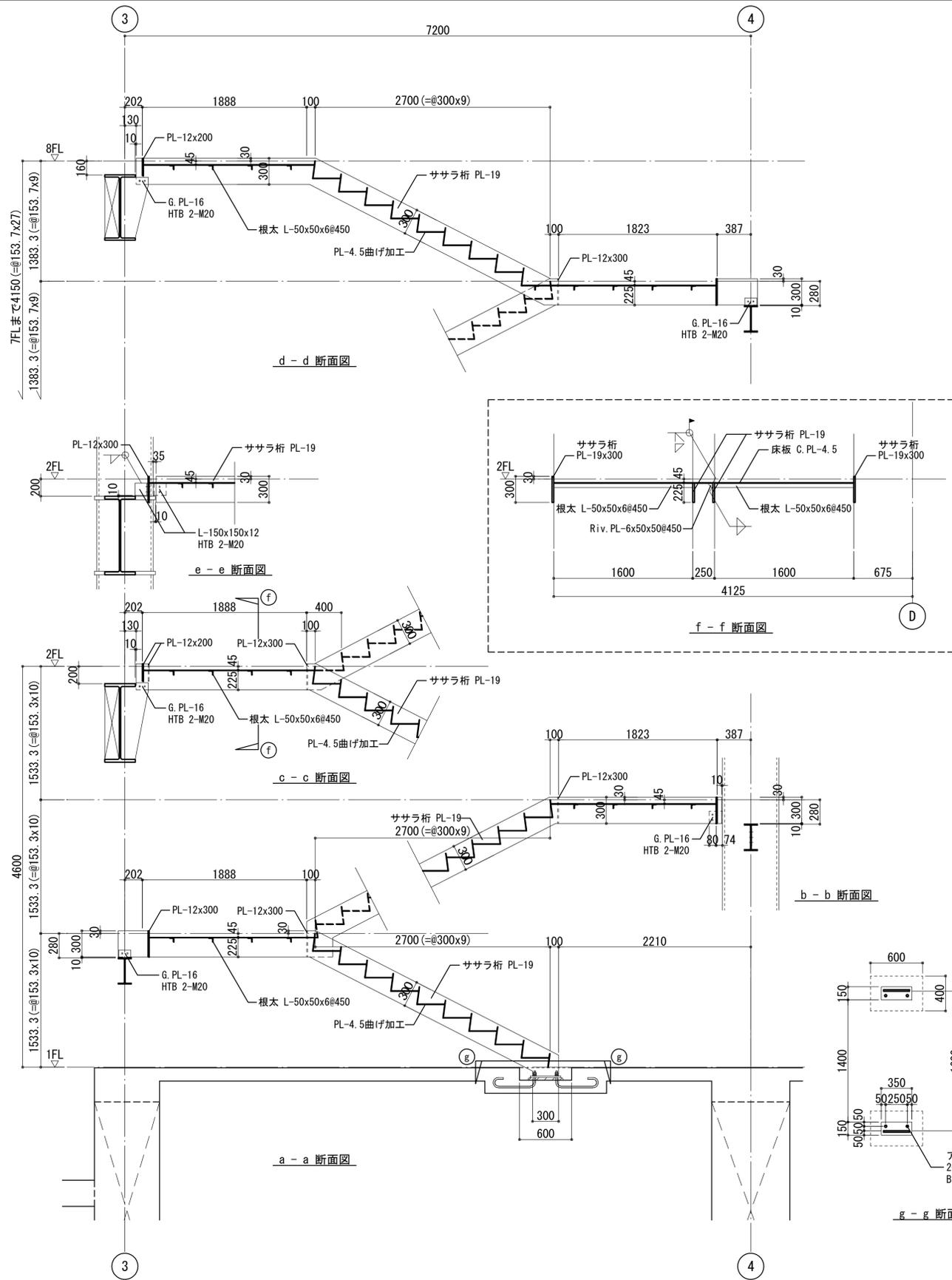
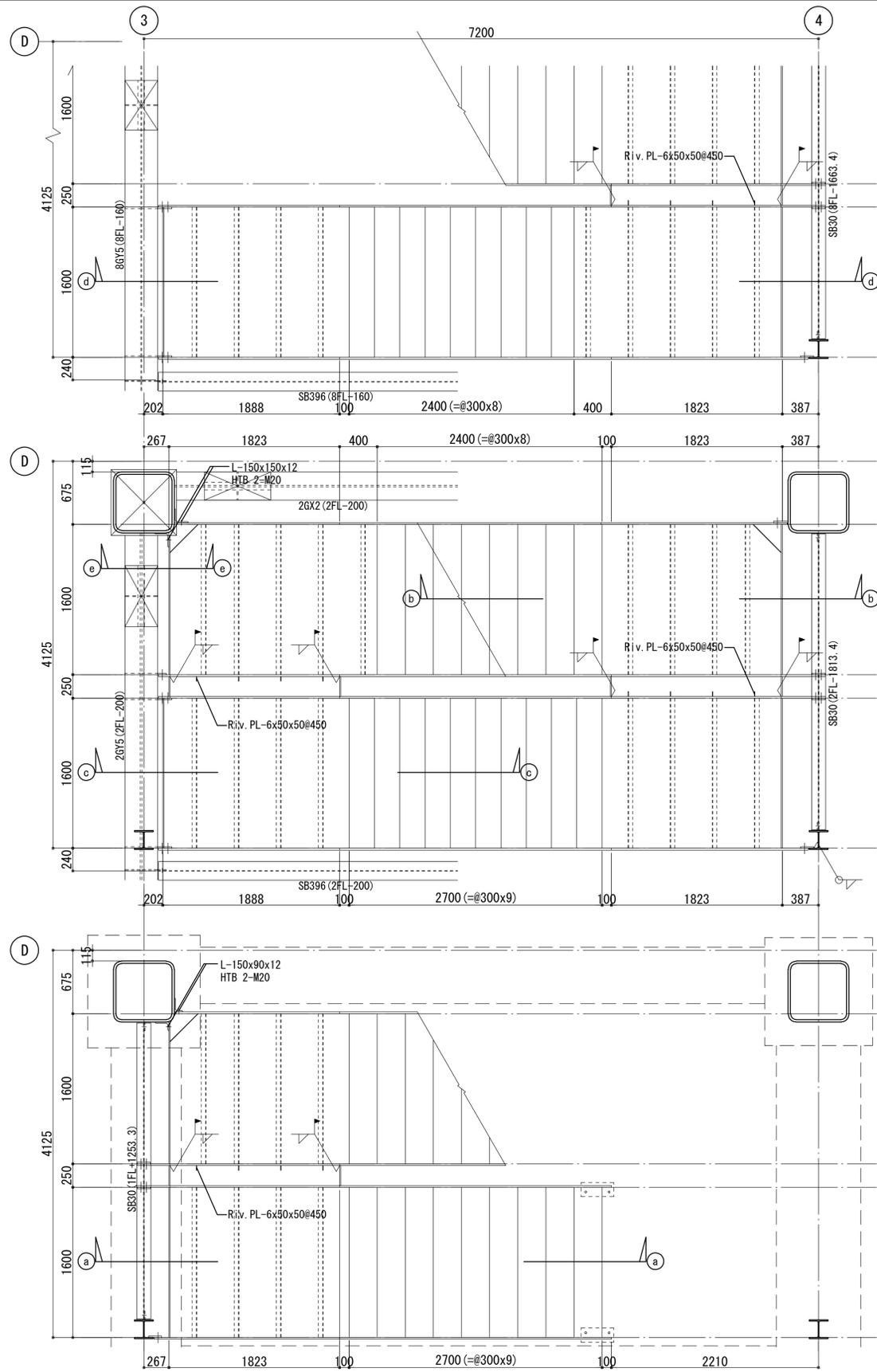
・鉄骨架台の断面及びWで示す寸法は意匠図による。
 ・鋼材はSS400とする。
 ・鋼材は溶融亜鉛めっき処理とする。

ホール内壁下地鉄骨配置要領図



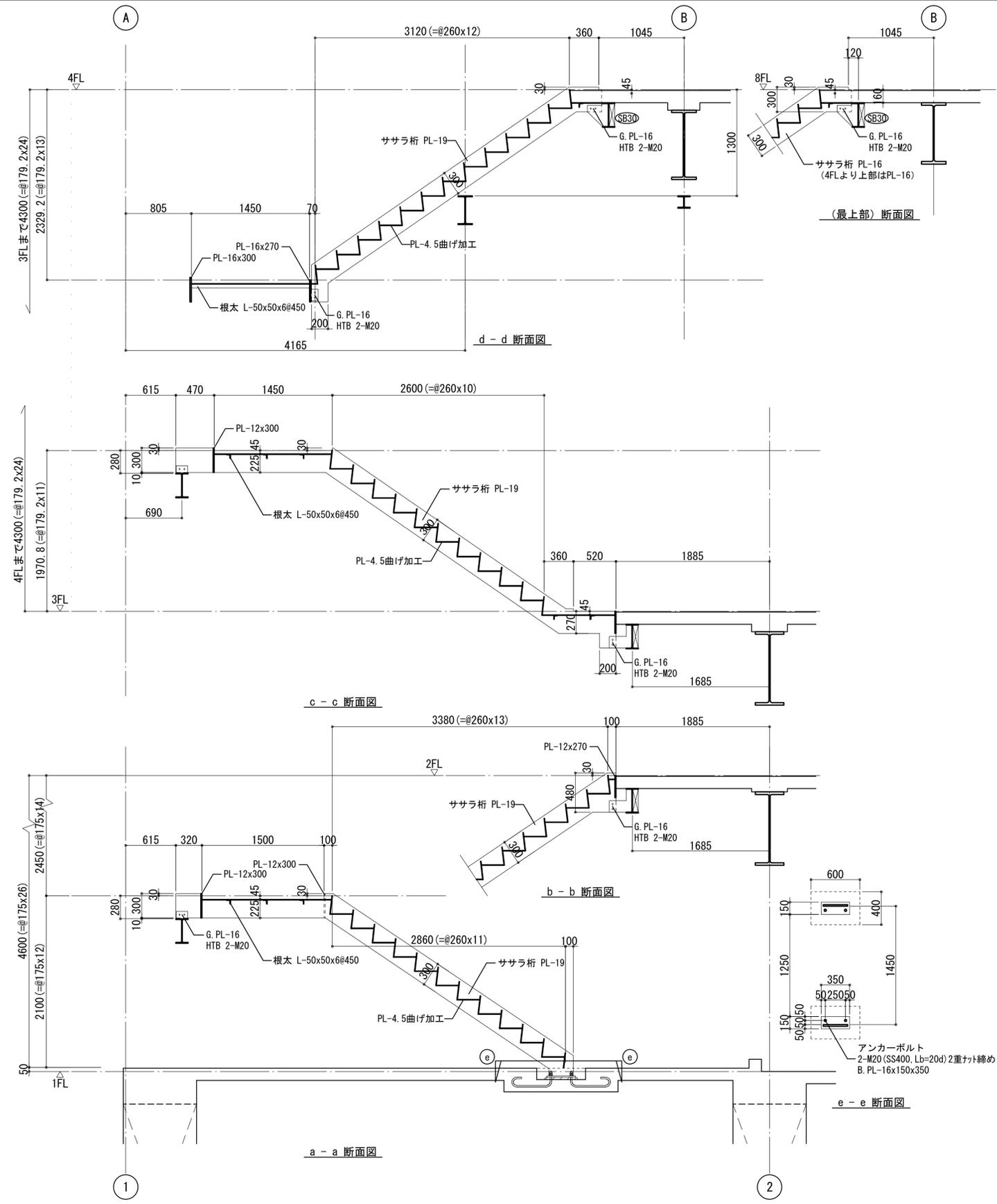
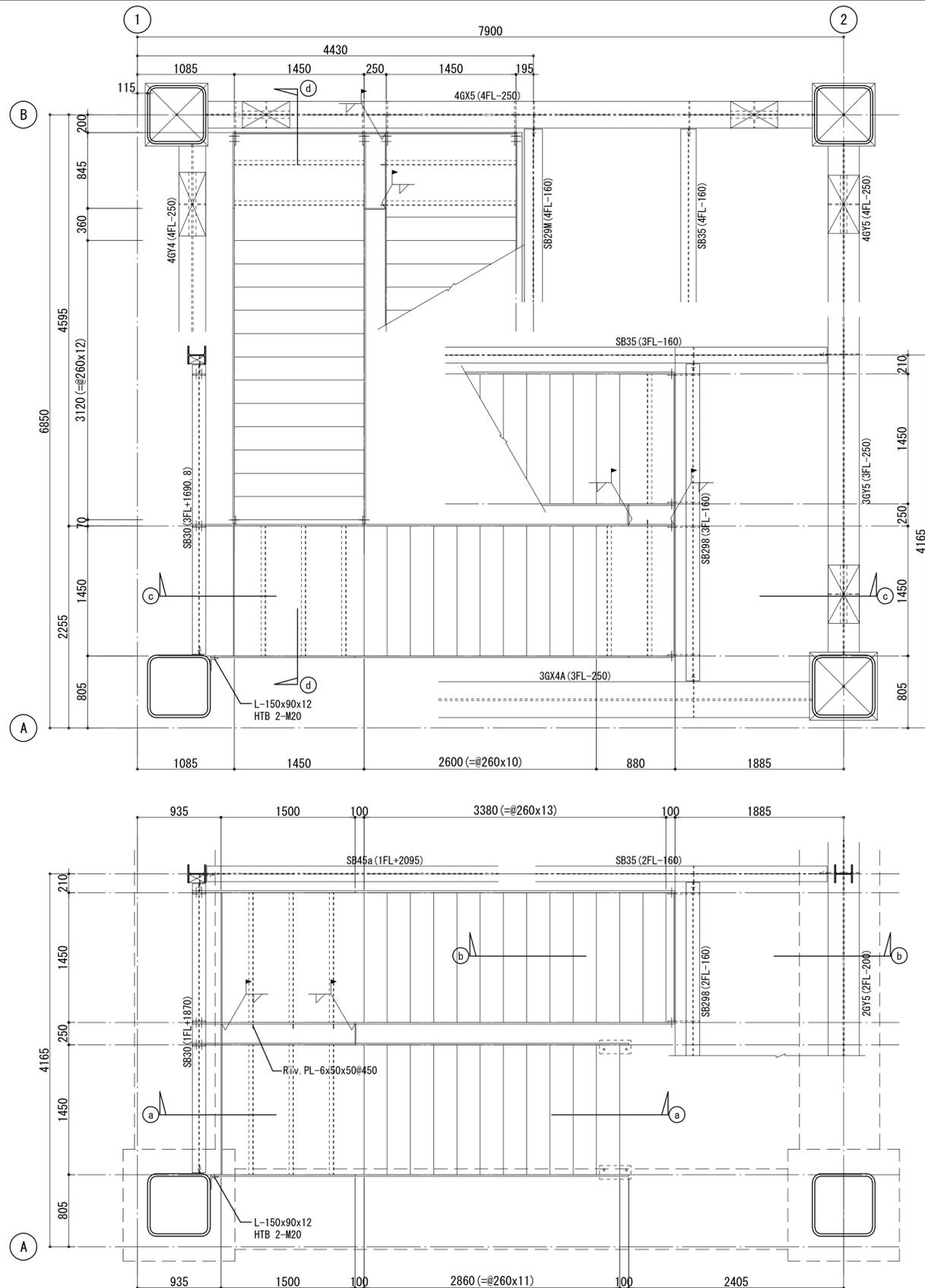
・鋼材はSS400またはSTKR400とする。
 ・高力ボルトはS10Tまたは同等品とする。

令和元年度	図面番号: A1
工事名称 (仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	図面番号: 554
図面名称 鉄骨詳細図(4)	図面番号: 216
大阪府都市整備局 企画部	図面番号: 216
公共建築課(企画設計グループ)	図面番号: 229

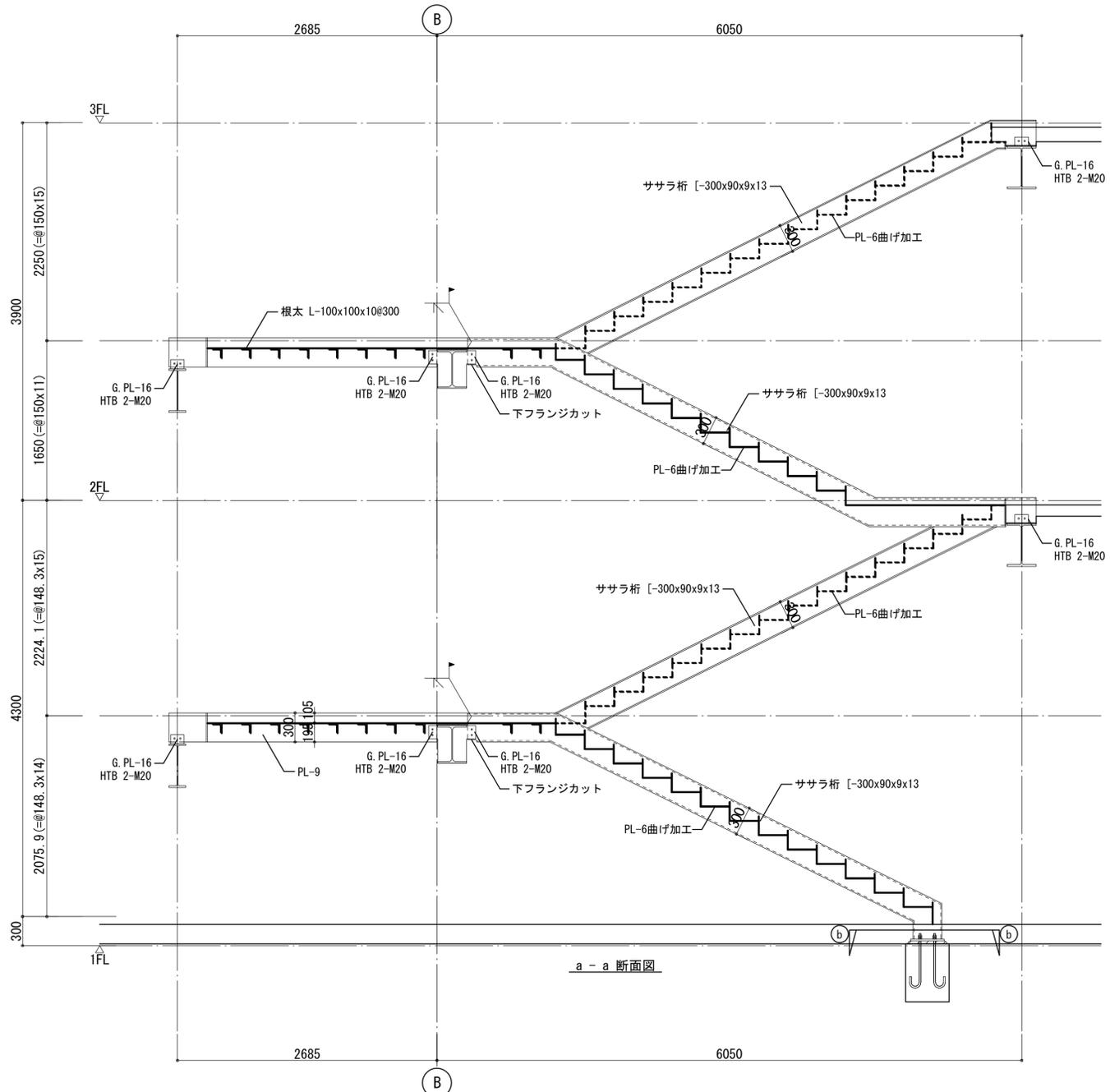
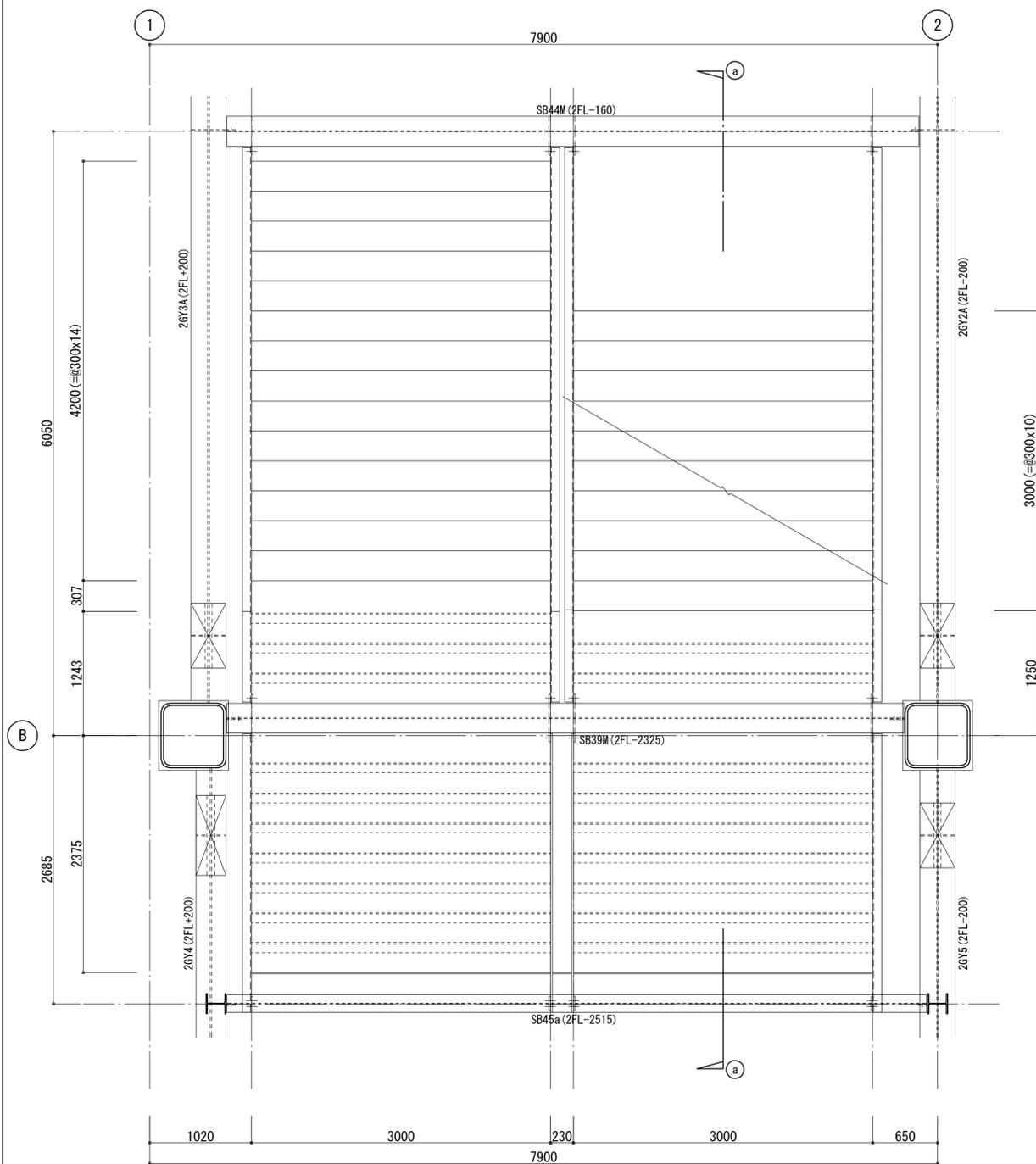


工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	令和元年度
図面名称	階段詳細図 (1)	図面番号: 555
大坂市都市整備局 企画部	株式会社 大建設	図面番号: 217
公共建築課 (企画設計グループ)		図面番号: 229

縮尺 1:30



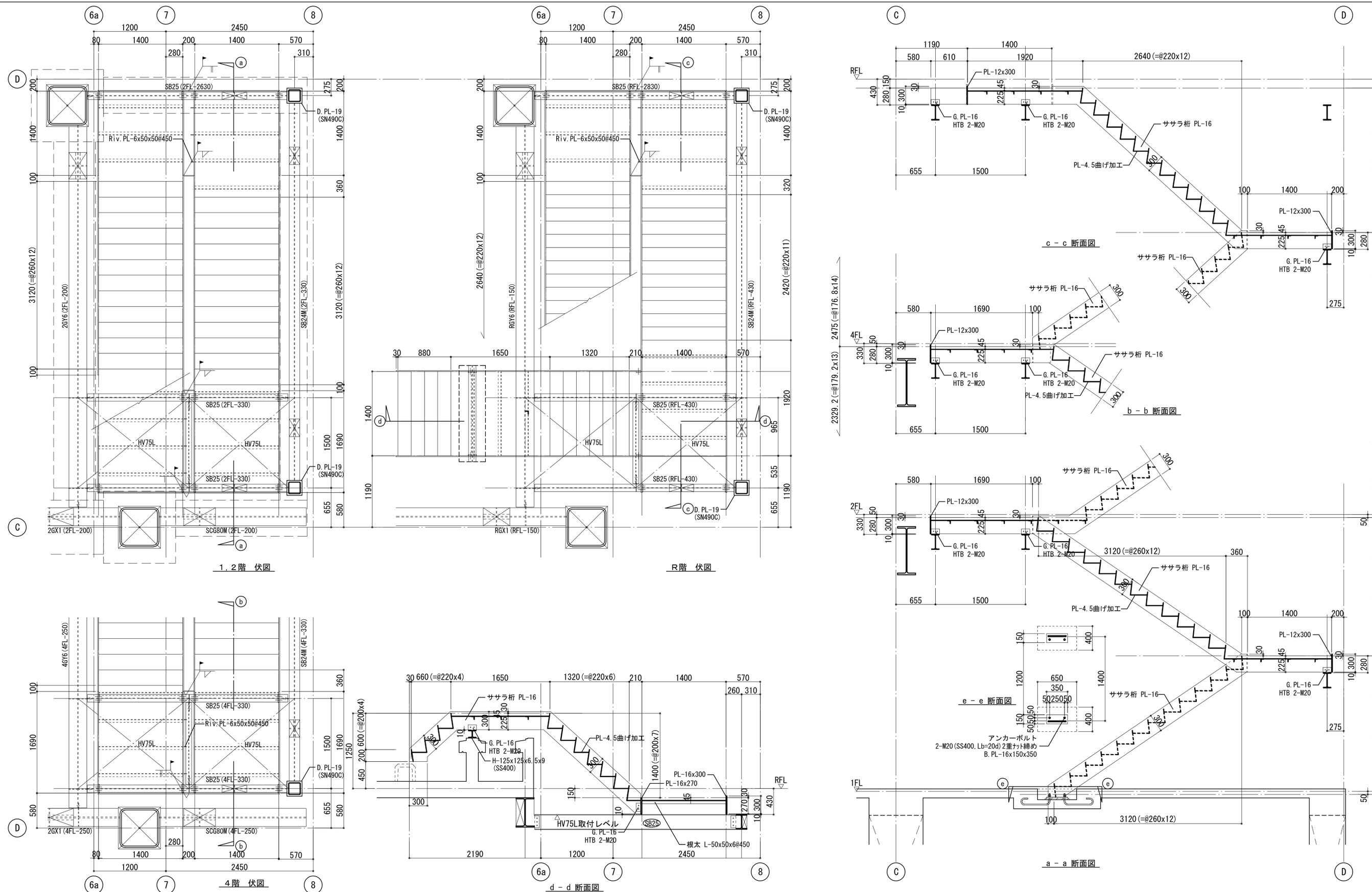
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事	令和元年度
図面名称	階段詳細図 (2)	図面番号: A1
大坂市都市整備局 企画部	株式会社 大建設	図面番号: 556
公共建築課 (企画設計グループ)		図面番号: 218
		図面番号: 229



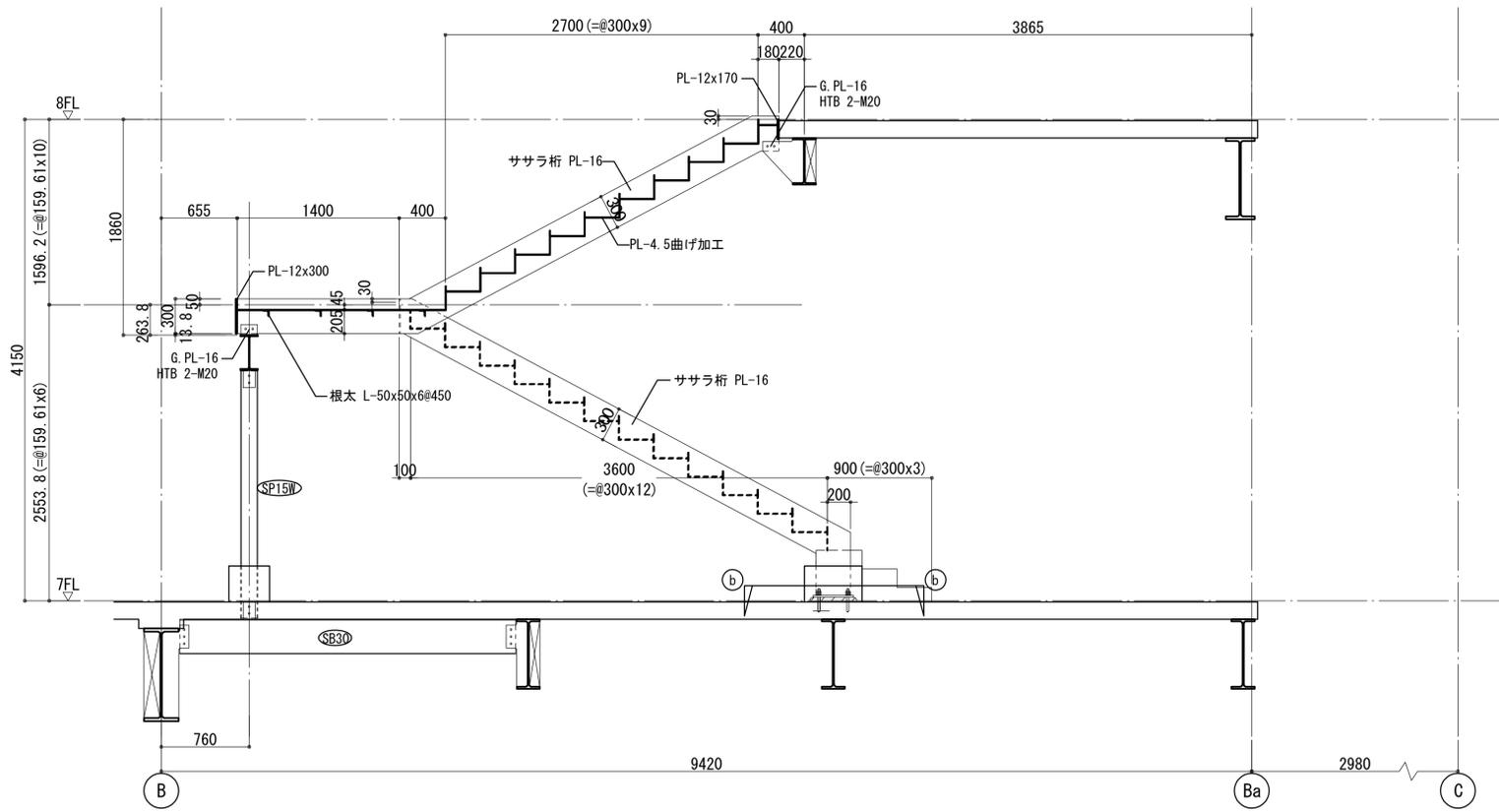
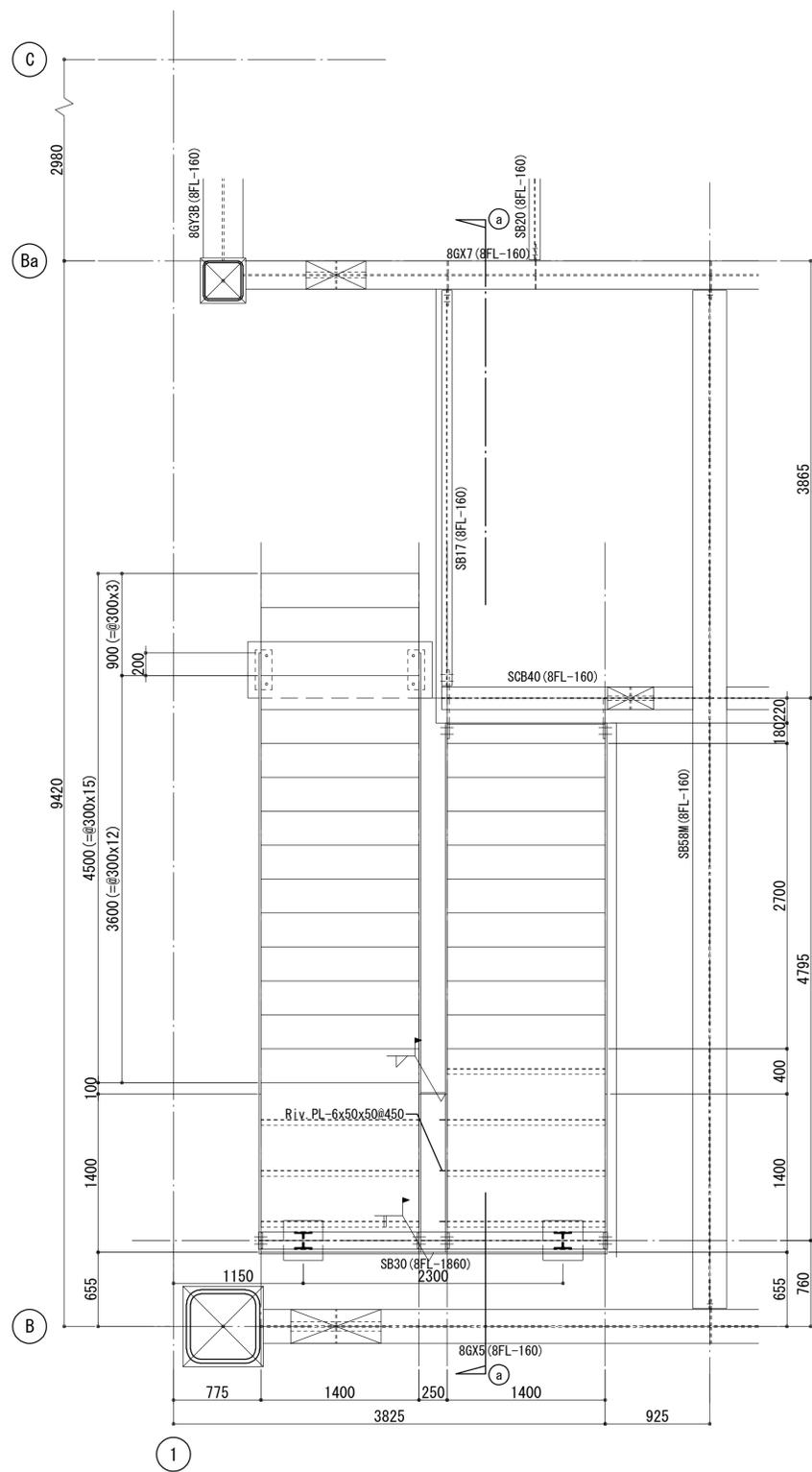
a - a 断面図

b - b 断面図

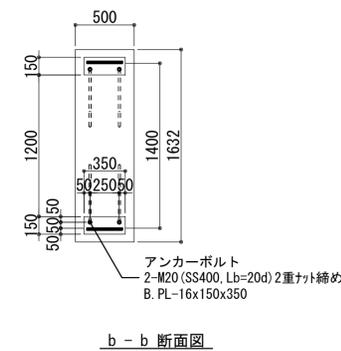
工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事			令和元年度	
図面名称	階段詳細図 (3)	通し番号	219	図面番号	557
大阪府都市整備局 企画部		株式会社 大建設		219	
公共建築課(企画設計グループ)				229	



工事名称 (仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事 図面名称 階段詳細図 (4) 大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (企画設計グループ)	令和元年度 図面番号 A1 558 220 220	株式会社 大建設	縮尺 1:30 229
---	---------------------------------------	--------------------	----------------

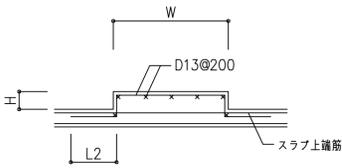
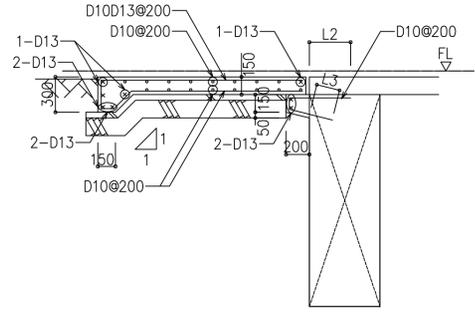
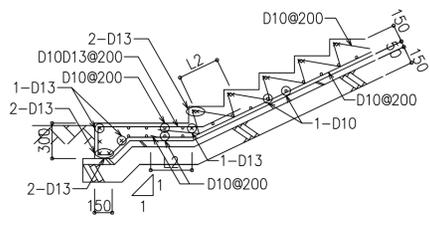
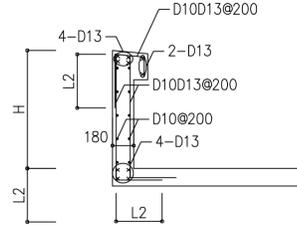
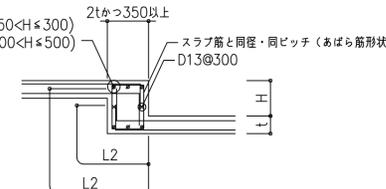
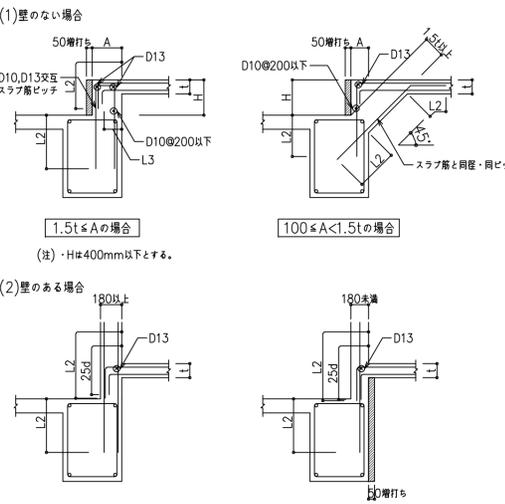
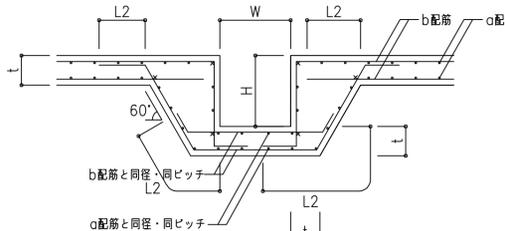
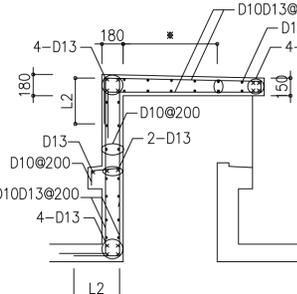
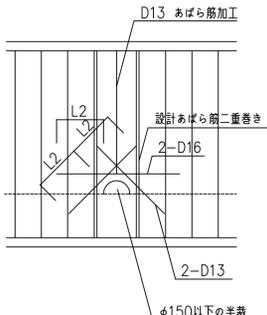
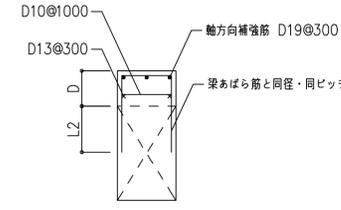
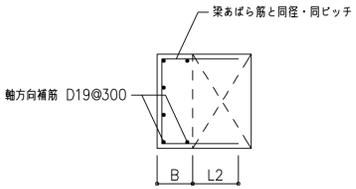
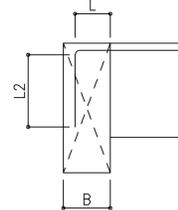
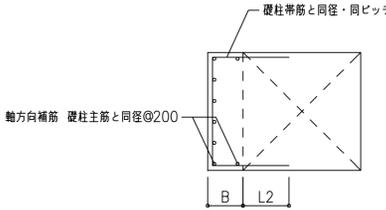


a - a 断面図



b - b 断面図

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事			令和元年度 図面番号: A1
図面名称	階段詳細図 (5)	通し番号	221	図面番号 559
大阪市都市整備局 企画部	株式会社 大建設	図面番号	221	229
公共建築課(企画設計グループ)				

<p>屋内機器類基礎</p>  <p>・W,Hで示す寸法は意匠図による。</p>	<p>土間コン配筋詳細図</p>  <p>・本体躯体との接続部は、沈下調整としてアゴ掛けること。</p>	<p>土間階段</p> 	<p>屋上バラベット (H<1000)</p>  <p>・Hで示す寸法は意匠図による。</p>	
<p>スラブ段差 (150<H≦500)</p>  <p>※段差H≦150の場合は標準配筋要領図(9)による。</p>	<p>スラブ段差(RC梁上部)</p>  <p>・壁筋はスラブ筋と同径・同ピッチ以上とする。</p>	<p>ビット釜場</p>  <p>・×で示す鉄筋は隣接スラブ筋の最大径の1サイズUPとする。 ・W,Hで示す寸法は意匠図による。</p>	<p>屋上配管取出口</p>  <p>・※印で示す寸法は意匠図による。</p>	<p>水抜き孔</p>  <p>・孔の上下方向の位置は標準配筋要領図(7)によらず、梁主筋からかぶり厚を確保した位置とする。</p>
<p>D>300の梁上増打ち</p>  <p>・※D≦300の場合は標準配筋要領図(10)による。</p>	<p>D>300の梁横増打ち</p>  <p>・※B≦300の場合は標準配筋要領図(10)による。</p>	<p>小梁の梁内定着Lbが確保できない場合の定着長さ</p>  <p>・Bの2/3≦L<Lbの場合</p>	<p>礎柱横増打ち</p> 	

工事名称	(仮称) 区画整理記念・交流会館建設工事			令和元年度	
図面名称	RC雑配筋図(1)	通し番号	222	図面番号	560
大阪府都市整備局 企画部		株式会社 大建設		222	
公共建築課(企画設計グループ)				229	